

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
FAX (078) 361-4539
http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎信仰的学びの機会を増やす。
 - ◎地域との交流促進。
 - ◎神戸昇天教会リーフレットの作成。
- 聖語** 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。(ロマ12:15)

教会記念日説教 (抜粋)

わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。

(ヨハネによる福音書14章27節)

主教 アンデレ 中村 豊

本日は主教巡錫ということで、共に聖餐式を献げることが出来ます。恵みを感謝いたします。この後、2名の方が堅信の恵みに与かることを共に喜び申し上げます。

見ないで信じる信仰

復活の主に出会った弟子たち、婦人たちは40日の間、蘇りの主とのしばしばの出会いによって、キリスト教信仰の確信が芽生えてきます。この信仰は聖霊の降臨によって完成し、ここにキリストの教会が発足し、全世界に向けての福音宣教が開始されます。ここで言う信仰の確信とは、見えない神の存在をキリストを通して信じるという事です。

ところが、見えないものを信じるということが、日本人にとって、大変難しいという現実があります。

日本基督教団の星野正興牧師が、神様の正体という本を書いておりますが、その中で、地方教会の牧師であった時の体験を記しています。

ある日、教会に近所のおばあさんがやってきました。新米でモチをついたから、神社やお地蔵さんにもお供えしたいので、同じ町内にある教会の神さまにもお供えしようと持って来たのです。



教会の神さまも、八百万の神々の一つと勘違いしたようです。

星野牧師は、早速おばあさんを教会の礼拝堂に案内しました。この礼拝堂には何の飾りもありません。あるものは講壇と会衆席のベンチだけです。

おばあさんは困ってしまいました。つきたてのモチをどこに供え

たらいいのかわからないのです。星野牧師も分かりません。困っているおばあさんからモチを受取り、とりあえず献金用の籠を載せておく台に載せました。

すると、そのおばあさんは、牧師に、「あの一、神さまはどこにおられるのですか？」

牧師は、「神さまはどこにでもおられます。」と返事しました。

おばあさんは納得せず、もう一度、聞いていただきました。「何を拝めばいいのですか？」。牧師は、「神さまです」と答えました。

すると、おばあさんは、「でも神さまはいないじゃありませんか、どこにも。だから何を拝んでいいのかわかりませんよ」。

牧師は答えて、「教会の神さまは見えないのです。だから教会だけにいるわけではありません。おばあさんが寝ている時、その側にもおられます。今、おばあさんのすぐ後ろにも、おられるかもしれません」。

おばあさんは急に、「ウヒー」という声を出して、あわてて後ろを振り向きました。そして怖そうな顔をして、逃げるように帰っていったそうです。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)

